

○取組の概要

- 安全・安心な農産物の提供と、生産・加工・流通の確立を目標に平成19年から青森県産「にんにく」を使用した高付加価値商品の製造・販売を実施



【取り組むに至った経緯】

- 平成3年に農業生産法人有限会社柏崎青果を設立
- 「にんにく」の取扱量が増える中で、規格外などの「はねもの」の商品化による県内産農産物の消費拡大

【生じた課題への対応方法】

- 元弘前大学医学部教授佐々木甚一氏の協力のもと、平成19年に「おいらせ黒にんにく」の商品化に成功

【取組の効果】

- 雇用人数: 65名(H19)→90名(H21)
- 販売額(にんにく): 3.1億円(H19) →4億円(H21)

うち黒にんにく分販売額:

1,000万円(H19) →6,000万円(H21)

- 青森県の未来を元気にする「ものづくり新世紀青森元気企業」県知事表彰等を授賞

【取り組む際に生じた課題】

- 「にんにく」特有の臭いを取り除いた商品開発
- 差別化に向けた新たな技術力の開発

【活用した支援施策(補助事業等)】

- あおもり元気企業チャレンジ助成事業(H19(財)21あおもり産業総合支援センター)

【今後の展望】

- 「おいらせ黒にんにく」を活用した多様な新商品の開発

成功のポイント！！

- 収益率向上に向けたコスト低減
「はねもの」を活用することにより、商品製造のロスを抑え収益率が向上
- 学識経験者との連携による高付加価値商品の開発
独自の製法により、糖度が高く、フルーティーな味わいに仕上げ、生にんにくと比べポリフェノールが約5.8倍、活性酸素を取り除く酵素の活性約3.4倍が特徴の商品化に成功